

あなたの作品は全国の学校で使われるかもしれません！

Programming Festivalはプログラミング技術を競う大会ではありません。プログラミングを通して、教育現場の課題を子どもたちと先生と一緒に解決していく大会です。大会を通して、子どもたちはプログラミングへの勉強意欲を刺激され、プログラミング学びの目標を立てることができます。また学校で習った知識をゲームやアニメーションをつくることによってより理解を深め、主体的に深い学びにつながります。さらに、すべての作品は、全国の先生が自由に使えることによって、学ぶ側(生徒)の視点と発想から先生の授業作りの改善に役に立ちます。子どもたちと先生の教え合う、学び合う新しい空間を創ることがわれわれの願いです。

応募要項

今年の科目設定：理科

上記科目の教科内容から自由に制作内容を選んでください。Scratchを使って、楽しく勉強できる**未発表のオリジナル**のアニメーションまたはゲームを創ってください。制作内容は必ず現在の学年の教科内容でないといけない制限はありません。例えば、小学4年生が小学校2年生の教科内容を選んで作ってもいいです。中学生は小学校の教科内容を選んで作ってもいいです。ただし、応募部門は現在所属学年に応じて応募しなければなりません。

応募資格: 小中高生なら誰も参加できます

参加費: 無料

ソフト: Scratch 3.0

※作品の著作権、失格に関する注意事項を必ずオフィシャルサイトでご確認下さい。

応募方法: 制作した作品ファイルをご用意ください。作品ファイルの最大サイズは5メガバイトとなります。作品に関する800文字以内の説明文をご用意ください。制作内容を選んだ理由、作品の特徴、操作方法などできるだけ詳しく説明してください。下記の応募専用サイトから必要項目を記入し、作品ファイルを送ってください。

応募期間 2019年7月1日(月) ～ 2019年9月16日(月・祝)

オフィシャルサイトの専用応募フォームからご応募ください。 <https://programmingfestival.jp/>

ノミネート作品 一次審査は全応募作品から
ノミネート作品15～20作を厳選します。

入賞作品 小中高校の現役先生により
入賞作品10作が選ばれます。

入賞作品の作者を授賞式へ招待。さらに当日発表で上位3名が以下の3つの賞を贈られます。

フェスト大賞 アイデア賞 デザイン賞

審査ポイント

- **アイデア**
- **おもしろさ**
- **シンプルさ**
- **使いやすさ**

Programming Festival 2019

Programming Festival
実行委員会主催